

「英語の見える化」で初めて英語がわかった — 地方大学の理系研究室で始まった奇跡 —

板倉 隆夫*¹
itakura@fish.kagoshima-u.ac.jp

*1: 鹿児島大学・水産学部・食品資源利用学分野・海洋生物工学研究室

◎ Key Words : 英語学習, 構文, 品詞, 記号, 読み込みからの脱却, iPad, クリッカー, 遠隔授業

0. 講演に先立ってのお願い

スマホをお持ちでしたら, <http://clica.jp/> にアクセスし,

ID : clica-guest-pcc

PW : 2014

を入力して下さい。クリッカーとして使用します。ニックネームは未設定でけっこうです。

1. 奇跡の始まり

2008年の夏頃, 研究室の一人の女子学生がぶっくらぼうにつぶやきました。「初めて英語がわかりましたよお」と。私が奇跡の始まりにかすかに気がついた瞬間でした。それに至るまでの私と英語教育との関わりを, その後も少し含めて, 年代順に見てみます。

1998: 水産学部の専門科目としての「**実用英語**」(国立の理系学部としては初めて)の開設に関わる。

1999: 鹿児島大学内でWGを組織し, BBC, CNNを学内LANでストリーミング配信開始。BBCとしては初めてのこと。

2003: PCCin 鹿児島大での講演のためにBBC World 社長 Dr. Cross が来日。

2004: CIEC TypingClub で CIEC 学会賞(吉野, 熊澤と3名で)。

2006: 「**実用英語**」をA~Dの4科目とし, Aの講師としてハミング発音スクール(東京)の大庭まゆみ氏を招聘。

2008: 研究室の**朝ゼミ**(1988年より継続, ほぼ毎朝)で, 分子生物学に加えて英語の学習を開始。和訳付の易しい物語を使用。

記号研方式(元岐阜大学教授寺島隆吉氏主宰)に, 他動詞と形容詞句の重視を加えた独自の方式(後に「**英語の見える化**」と称する)を考案。

大学院の「**英文輪読 I**」でも採用。

2010: 共通教育「**英語コア U**」(水産学部生向けクラスを「**実用英語**」の非常勤講師が担

当)でこの手法を実演し, 「**実用英語 A~C**」でも採用されることとなる。

2013: **朝ゼミ**の英語学習で, iPad 11 台を使用。鹿児島大学 AO 入試入学向け**英語補習授業**を, 「**実用英語**」非常勤講師とともに担当。テキスト『**理系英語の基礎**』を作成。

12月7日, 広島大学教育学部柳瀬陽介教授(英語教育学)の招きで講演。柳瀬教授のブログで紹介された『**理系英語の基礎**』のダウンロード数が1か月で2000を越える。

2014: 英語の**遠隔個人レッスン**(Skype, iPad, 遠隔会議用アプリ MetaMoji Share を使用)を開始(1番目の生徒は大学職員)。

共通教育「**英語コア R**」(水産学部生向けクラス)をネイティブ教員とともに担当。教室内で iPad 12 台と遠隔会議用アプリを使用。テキスト『**大学英语の基礎**』を作成。

連合農学研究科の「**英語論文作成セミナー**」を担当(11月に予定)。SINET3で佐賀大, 琉球大と結び, iPad, Clica を使用する予定。

2008年に, 朝ゼミで英語学習を始めて数か月後に女子学生が「**わかった**」とつぶやいたわけですが, その後, 多くの学生の声がありました。

・私が2010年に「**英語コア U**」で教え, 4年次に研究室のゼミ生となった女子学生が

「(センター試験の英語の点数は学年で上位であったが)ほんとうは単語の訳を適当につなげていた。英語の問題は過去に経験したパターンで対応していた。この方法(**英語の見える化**)でもっと早く教えてもらいたかった。」

(補足: 彼女は, 英語の論文を読みこなし, 大学院生以上の成果を上げた)

・中学に通うことができず, 高校は水産高校を選び, 推薦で水産学部に入學したというゼミ生が, 卒論の終わり頃に

「(来年度、全学の**英語補習授業**を私が担当するが、この方法で教えてよいかという質問に、笑顔で)この方法が良いと思います！」

- ・大阪で予備校に通った経験があるゼミ生が、「私が予備校で習った記号づけは、点数を取るための方法でした。今、学んでいる方法は、英語を理解するための方法です。全く違います。」
- ・研究室のゼミ生となって1か月半後の学生が「(1か月半で英語がわかるようになったね、という私の言葉に)はい、ボクの場合は(英語力)ゼロからでしたから、すごい進歩です。」

これらの言葉とともに、補習授業の1年生から大学院生に至るまでの多くの学生の、この手法で学んだ直後の顔の輝き(=満足感)で、私の奇跡の実感はたしかなものとなっていきました。

2. 英語がわかることが奇跡なのか？

この問いに答えるためには、

- ・英語がわかるということはどういうことなのか？
- ・日本の学生が英語をどのように捉えているのか？

がわかった上で、

- ・日本の学校教育によって英語がわかるようになった日本人がどれだけいるのか？

を把握する必要があります。英語が本当にわかる日本人がたくさんいるのであれば、奇跡では、ありません。

「英語がわかる」ということは、少なくとも、「英語が(だいたい)訳せる」ではなく、「英語を英語として理解できる」ということです。ただ、その力を評価することは、かなり困難です。リスニングでは音を聴き分ける能力を含めての評価になります。自分で発音できない音は聴けない、ということがあり、発音指導がまったく不十分な日本では、リスニングで英語力を評価するのは無理があります。

学生が英語をどのように捉えているか、脳の中の和訳作成の過程を、結果の和訳から推測するのは困難です。丸暗記の成果であるかもしれない和訳のできぐあいでは英語教育が成立していると錯覚する教師がいるとしたら、英文和訳は、成果が上らない日本の英語教育の元凶かもしれません。

さて、日本の学校教育における成果ですが、学生の英語理解を客観的に評価することが難しいので、まず自己評価を見てみましょう。鹿児島大学共通教育における調査^{1,2,3)}では、「**共通教育において入学時点と比べて変化したこと**」について「**落ちた**」という回答は、

- ・文章を読んだり書いたりする力
- ・人前で自分の意見・考えを発表する力

など13項目の中で、

- ・**外国語を読み・書き・話し・聴く力**

が、2010、2011、2012年度の報告書で、**36.8、33.0、34.0%**と飛び抜けて高く、他の項目は**10%台が2項目程度**、その他は**10%以下**です。

1年次の前期後期それぞれ週2回の英語の授業があつての結果、それも学生の自己申告で、ですから驚くべき結果と言わざるを得ません。

高校までの英語教育で、ほんとうの基礎が身につけていれば、このような結果には、ならないでしょう。また、現在の大学の英語教育では、それをカバーするだけのことができていない、ということですが。

実は、「**伸びた**」という回答が、**20.8、22.5、23.7%**ありました。しかし、これには、自己努力で伸びた学生、外部試験の受験テクニックが伸びた学生などが含まれており、教育によってほんとうの英語力がどれだけ伸びたか調査が必要です。

では、「**英語の見える化**」に対する、他からの評価として、水産学部のある先生からのメールを少し短くして紹介します。

これまでの数年間、〇〇学分野には比較的成績の良い学生が集まっていたましたが、英語力が著しく低いのが実感でした。

読めない：特に複文の何が主文で何が節なのかわからない。

訳せない：5文型がわからない。関係代名詞の先行詞がわからない。単語の訳を適当につないで、それらしい(意味は全く違う)文を創作する。

彼らが修士課程へ進学して英語の文献を理解できるのかはなはだ疑問でした。実際、誤訳により実験が滞っていました。

しかし、去年の科学英語の授業では、事態は全く違いました。全員、読める、訳せる、さらに理解できる。ここがすごい。これまでは訳せても理解できなかったからです。科学英語を数年間担当しましたが、これほど優秀だったのは初めての経験でした。

過日のお話では、板倉先生がご指導された学年だったとか… ご指導の賜物です。

この学年は、私が**2010年**に共通教育に乗り込んで「**英語コアU**」を教えた学年でした。その後の「**実用英語**」の先生方のがんばりもありましたが、「**英語の見える化**」の成果であり、私は奇跡であると考えています。

なお、研究室の少人数のゼミではなく通常のクラスでは、なかなか難しい面があります。その時、ハミング方式による発音指導は、英語の授業を楽しくしてくれます。それがあってこそ得られた成果であると考えています。

3. 「英語の見える化」は効率の良い学習法である

言語の特徴として

英語は、

- 他のゲルマン諸語と比べて、文法が簡素化されている
- SVO 言語であり、動詞の他動詞化が現在も進行している
- 語順で基本的な意味が決まる（英語の5文型）
- 前置詞句（副詞句・形容詞句）が発達している

ということがあり、その英語と比較して日本語は、

- SOV 言語であり、(英語の)他動詞が無い
- 品詞が特殊であり、(英語の)形容詞が無い

ということがあります。

それらの結果、

- ① 「他動詞+目的語」
- ② 「名詞+形容詞句などによる後置修飾」

は、英語の特徴とも言えるものであるのに、

- 日本人にとって本質的な理解が難しい
- 日本語と語順が逆で大きなストレスとなる

ことであり、日本人英語学習者が最初に学ぶべきこととなります。習熟して克服しないと、大きなストレスであり続けます。この①と②の本質性と重要性への対応が「英語の見える化」の学習効率を生み出しています。英文中に記す記号によって、他動詞の他動性が示され、形容詞句も明示されま

す。

この時、見える化は次の2つを含みます。

- 記号による英文構造の見える化
- 学習者自身が記号をつけることによる学習者の英文理解度の見える化

2008年の朝ゼミで記号研方式を採用するに当たって、そこまで考えたわけでは、ありませんが、

- 自動詞と他動詞を区別する
- 副詞句と形容詞句を区別する

ということは、中学生時代から英語を英語として理解しようとしてきた私にとって当然のことでありました。その重要性が「英語の見える化」の実践で証明されました。「英語の見える化」は英語教育の現場で得られた現実解です。

詳しくは、『大学英語の基礎』

<http://goo.gl/2BPPMX>

を参照してください。記号づけとチャンク訳の例として、『英作基本文例 600』の5文型を用いた模範解答

<http://goo.gl/nzVedn>

も用意しました。

4. 記号づけはタブレット端末との相性が良い

「英語の見える化」では、教師による英文の説明も学習者による解答も、英文中に記号や「S, V, O, C」を書き込んで示すため、iPadなどのタブレット端末の、PDFに書き込むアプリと相性が良いようです。最近では共有ドライブを備えた遠隔会議システムも出てきています。スマホやPCのSkypeと組み合わせると、対面と変わらない遠隔授業が可能です。教室内でのグループ学習でグループの数だけのiPadを用意してWi-Fiで接続すれば、教師も学習者も自由に書き込める電子黒板が実現します。「英語の見える化」は、予備校教師が説明するための記号ではなく、チャンク訳と合わせて学習者自身が英文理解を表現するためのものであり、つけた記号が英文理解を助けるというものです。学習者も自由に書き込んで共有できる環境はとて有効です。

5. おわりに

「英語の見える化」は、少人数の研究室ゼミで成果が得られています。大きなクラスでは、英語の語彙力など基礎的な力がある学生、やる気のある学生はよいのですが、やる気のない学生は機械的に記号をつける傾向も見られます。iPadを使ったグループ学習は有望ですが、授業を楽しくする努力の他に、英文に真剣に取り組まざるを得ないようなメソッドの開発が必要かもしれません。

新たな教材としては、音ではなく文字で、返り読みさせずに英語力を評価する教材をパワーポイントで作成しています。他動詞の他動性や形容詞句による修飾を身につけさせるカードゲームも考案中です。

【参考資料】

- 1) 鹿児島大学共通教育における学習実態・学習成果に関する調査（2010 調査報告）
- 2) 鹿児島大学共通教育における学習実態・学習成果に関する調査（2011 調査報告）
- 3) 鹿児島大学共通教育における学習実態・学習成果に関する調査（2012 調査報告）

「英語の見える化」記号一覧

前置詞句	[副詞句] [形容詞句] ^a
動詞	完全 自動詞 不完全 自動詞 = あるいは 不完全自動詞 他動詞 目的語 他動詞 間接目的語 直接目的語
準動詞	to 不定詞 to 自動詞の原形 to 他動詞の原形 意味上の目的語 現在分詞 自動詞の現在分詞 他動詞の現在分詞 意味上の目的語 過去分詞 過去分詞
節	[副詞節] [形容詞節] ^A (名詞節)

【補足】

- ・ 主語と補語は、行下に **S** と **C** を記す
- ・ 第5文型の **O** と **C** の主述関係を「**O = C**」で示すことができる
- ・ 準動詞の意味上の主語、補語は、小文字で、**(s)**、**(c)**と記す
- ・ 準動詞の意味上の間接目的語も、二重下線で直接目的語と区別できる